

# 第29回 耳の手術研修会 ～研修後記～

東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科学教室

平成24年7月19日～21日の3日間、慈恵医大解剖学講座の協力の下、「第29回耳の手術研修会」を開催いたしました。

今年は実習生22名(解剖 20名、見学 2名)が参加しました。

特別講師として、名古屋市立大学の村上信五先生、福島県立医科大学の小川 洋先生、新潟大学の山本 裕先生、獨協医科大学越谷病院の田中康広先生をお迎えし、ご教授頂きました。



解剖実習



デモンストレーション



3D顕微鏡を用いたレクチャー  
(全員3D専用メガネを装着)

**初日** は、頭部標本を用いた側頭骨解剖実習を行いました。実習は実際の手術用顕微鏡(CARL ZEISS社)を用いて1人1耳を削開しました。2人につき1名の慈大インストラクターがつき、助言等を行いました。また、コクレア社製人工内耳電極を用意し、蝸牛への電極挿入も実体験してもらいました。

削開デモでは3D顕微鏡を用いることにより術者と同じ視野・深度を体感してもらうことができました。内視鏡(Karl Storz社)を適宜併用することで複雑な構造である側頭骨解剖をよりの確に習得できるよう工夫しました。

デモは経験豊富な他大学医師と慈大インストラクターとの軽妙な質疑応答の掛け合いで、より理解の深まるものとなりました。また、(株)モリタのコーンビームCTと永島医科器械のシミュレーターでの削開デモも体験してもらいました。

**2日目** は、Live Surgeryが中心で、実際の手術室の臨場感を味わいながら学べるのが特徴となっています。

中耳真珠腫、慢性中耳炎、耳硬化症など計6件の手術を森山、小島をはじめとする4名の医師で執刀しました。

また今回は、Topicsである内視鏡下耳科手術をアブミ骨手術に応用し、ご好評を頂きました。

夜は懇親会を行い、研修生同士の親睦を深めると共に、研修会での疑問点などを気軽に聞ける場を設けました。

Live Surgery  
(内視鏡手術)



懇親会

**3日目** は、主に講義を行いました。実際の臨床に即した系統的な講義となるようにプログラムを構築し、各項目とも経験豊富な演者に担当して頂きました。

以上3日間という短い日程ではありましたが、今後も技術の向上を目標に充実した研修会となるよう努力していきます。



講義室



森山教授を囲んで(手術室にて)



研修終了後、みんなで記念撮影

## 耳の手術研修会を終えて

【小島 博己】

慈恵の手術研修会では、「手術を安全に行うことを如何にして的確に指導するか？」をコンセプトに運営しております。そのため今回はいくつかの初めての取り組みも企画しました。そして他大学の経験豊富な先生方のご協力を得てその目標により近づいたものと思っています。

参加された先生方のご意見を拝聴し、今後もよりよい研修会を目指してまいります。今回の研修を有益と感じて頂き、さらに後輩の先生方に奨めて頂けたらこれほど嬉しい事はありません。

